



現場で使える！研究成果

可給態窒素 簡易分析活用し 化学肥料を削減

可給態窒素とは肥料とは別に土壌からゆっくりと作物に供給される窒素であり、地力窒素ともいわれ土壌の肥沃度を示す指標の一つ。国が定める地力増進法の目標値は、普通畑で乾土100gあたり5mgであり、目標値より低い場合は、堆肥

の投入や緑肥の栽培などの土づくりが必要で、目標値より高い場合は、窒素施肥量の削減などが可能となる。

pH5・5以上の土壌で活用可能であることもわかった（土壌pHが低いバレイシヨ畑や茶畑では現状適さない）。

可給態窒素の分析は従来1カ月以上の期間を要したが、国の研究機関である農研機構から示された2日で分析可能な簡易法（CODからの推定法）を活用し、県内の畑土壌に対応した推定式を作成して分析精度を高めた。また、この簡易法は

簡易法で分析した可給態窒素の値は「畑土壌由来の可給態窒素見える化アプリ（二次元コード参照）」を用いることで、誰でも簡単に化学肥料（窒素肥料）の削減量がわかる。



可給態窒素の簡易分析法については、別途詳細な手順書を作成しているので、各振興局または当センターにお問い合わせください。
（長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 平山裕介）